

## 6. 「街が輝く」

### ①快適に暮らせる生活基盤の整備

#### 前期基本計画の取組状況

##### (1) 生活道路網等の整備

小松島航空基地周辺和田島 47 号線外 2 線の道路改良舗装工事については、航空基地正門から大手海岸までの区間の二車線化（片側自歩道化）を図り、大手海岸から航空基地までの区間について供用を開始しています。

また、国からの交付金を活用し、破損部の修復など緊急性の高い個所から優先して、道路工事や測量委託業務の実施を行うなど、市道の整備を進めました。

##### (2) 公園・広場・緑地の整備

たぬき広場野外ステージ改修工事、および、SL 記念広場内の遊具と合併浄化槽の修繕工事を行い、公園・広場の整備を行うとともに、中田 38 号線自転車歩行者専用道路第 1 号橋橋梁修繕工事を行い、施設の管理に努めました。

##### (3) 社会ニーズに対応した公営住宅整備

市営住宅の将来的な基本方針（建替え・改修・維持管理など）を定めるために、小松島市営住宅長寿命化計画の策定に取り組んでいます。また、老朽化が進んでいる小集落地区改良住宅については外壁改修事業を実施しています。

##### (4) 安全な水の安定供給

水道システムについては、計画的かつ効率的に施設更新と耐震化を行うため、投資効果の高いと考えられる上流側から実施しています。また、老朽化した配水管の計画的漏水調査と漏水修繕工事を実施し、有収率向上を図っています。

田浦浄水場の耐震化及び施設更新についてはほぼ完了しており、新たな水質課題等に対応できるよう配慮しています。

##### (5) ごみ処理・し尿処理など生活関連施設の整備・充実

市民の皆さんのご協力による資源ごみの回収の推進や、廃プラスチックごみ処理の委託業者を変更したことなどにより、リサイクル率が向上し、最終処分場への埋立量の減量化が図られました。また、次期ごみ焼却場などの中間処理施設の整備に向けた取り組みについては、近隣市町村と広域化・施設体制の検討などを行い、平成 24 年 7 月に徳島東部 7 市町村により、徳島東部地域環境施設整備推進協議会を設置しました。

火葬場施設については、PFI（民間資金による公共施設整備）の手法による整備を進めるため、可能性調査を行いました。

## 現況と課題

### 生活道路

小松島市では、都会に比べて公共の交通機関が未発達で少ないため、どうしても車を利用することが多い実状です。そして、車のほとんどが国道55号線に集中するため、朝夕の通勤時には、慢性的な渋滞が起こっています。

さらに、小松島市の道路は、戦後になって本格的な整備が行われ、特に高度成長期には、急ピッチで整備されたことから、現在、多くの道路施設が建設後50年以上を迎え、様々な経年劣化が見られるようになっています。道路橋についても建設後50年以上経過したものがかなりの部分を占めることから、適切な修繕を行わなければ、架け替えや大規模な修繕が必要となり、大きな負担が生じる恐れがあります。

### 公園

日峯大神子広域公園、恩山寺自然公園、市の中心部のステーションパークなどの公園は、市民の皆さんのがんばりや交流の場として、またイベント会場として利用されています。また、平成15年には、多目的広場やせせらぎ、水遊びができるじゃぶじゃぶ池などを備えた立江川親水公園が完成しています。



ステーションパークにあるたぬきの像

### 住宅

小松島市では、これまで住宅に困窮する低所得者に対し、市営住宅の計画的建替や施設改修などにより、健康で文化的な生活を営むことができるよう住宅の供給を行ってきました。

市営住宅への入居希望は依然として高いものがあります。

今後は、小松島市営住宅長寿命化計画により、各団地それぞれの現状調査と適正な住宅管理戸数をもとに集約化を進め、また各団地の活用方針にしたがって、快適な生活の確保や住宅ストックの良好な維持管理を行う必要があります。

## 水道

水道施設の耐震化や施設整備を計画的に進めています。そのうち田浦浄水場の整備は、平成24年度中に完了する予定です。また、送配水管の漏水調査と同調査に伴う修繕工事を計画的に継続しながら実施していますが、有収率から判断すると前期計画期間で、平均で約82%であり、県内の平均を維持しています。

今後は、漏水調査の施策について継続的に検討を加え、配水損失をできる限り抑制し、有収率の向上を図る必要があります。



水道部の新管理棟

## ごみ処理・し尿処理など生活関連施設

家庭から出されるごみのうち、可燃ごみについては焼却処理を行っています。ごみ焼却施設は平成13年度にダイオキシン排出基準（ $5\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$  以下）に適合し、1日70tの焼却能力をもつ高度処理施設になっています。

リサイクルにより再資源化されないものや燃えないものは、埋立処分を行っています。現在は、最新の処理・処分技術を用いた安全な処分場として、県が整備を進める徳島小松島港赤石地区に最終処分場があり、ごみ焼却灰、不燃ごみ残渣、側溝汚泥などを年間約2,000t程度埋め立て処理しています。県に対し平成22年から5年間の埋立許可期間の延長を行っており、この期限が、平成26年度末までとなっています。そのため残余容量があれば再び許可期間の延長を行うことになりますが、いずれにしても、次の最終処分場を確保する必要に迫られています。

し尿は、各家庭や施設の単独浄化槽、合併浄化槽等から民間の許可業者が収集し「しらさぎ浄園」（小松島市外三町村衛生組合）で処理を行っています。施設は、平成12年に新施設が完成しており、膜分離高負荷生物脱窒素処理方式で処理され、分離された汚泥については焼却し、水については浄化したのち立江川河口に放流し、環境に配慮したものとなっています。

火葬場施設は、市内及び市外から年間約500体の利用があります。施設は築後40年以上を経過し、老朽化が進んでおり、大規模な改修を余儀なくされる事態が考えられます。

## 基本方針

### 生活道路網等の整備

「市は、主要幹線の渋滞緩和のため、道路の体系的な整備を行います」

本市における朝夕通勤時の慢性的な渋滞は、本市が徳島・阿南の両市に挟まれ、両市の企業などに通勤する小松島市住民と徳島・阿南市の住民が本市を通過することによる通行量に対し、主要な道路が国道55号線と県道徳島小松島線しかないことが原因だと考えられます。

市は、渋滞の緩和や渋滞の際の間道となる市道の整備を推進するとともに、主要道路の管理者である国や県などと連携し渋滞緩和に向けた取り組みを進めます。

### 公園・緑地の整備

「市は、市民の皆さんの憩いの場として、また、スポーツや交流する場として、さらには、災害など万が一の際に避難する防災空間として、身近な公園・広場・緑地の計画的な整備と緑化を進めます。」

子どもや高齢者の安全な遊び場、憩いの場、スポーツ・レクリエーションの場、交流やイベントの場として、また生活にうるおいをあたえる緑空間や防災空間として多機能な公園の整備、公共空間や敷地内の緑化などを進めます。

### 社会ニーズに対応した公営住宅整備

「市は、多様化する居住者ニーズに応え、高齢者や障がい（児）者が住みやすく、心豊かに暮らす快適で安全な市営住宅の整備を促進します。」

ライフスタイルが多様化してきている中で、住まいの質的な面に対する市営住宅に住んでいる市民の皆さんからの要望も強まってきており、長持ちのする良好な家づくり、高齢社会にも対応できる質の高い住まいづくりが求められています。公営住宅をこうした要望に応えられるよう整備します。

### 安全な水の安定供給

「市は、安全でおいしい水を安定的に供給するため、災害に強い水道システムを構築します。」

東日本大震災を受けて、津波等による被害想定を見直す動きもあり、耐震化事業の優先順位等の再検討を要することから、今後、送配水管施設更新を継続しながら、これまでに策定済みの水道耐震化計画、水道ビジョン等の見直しを図り、それらに基づき耐震化事業を進めます。

## 生活関連施設

「ごみ処理施設などの生活関連施設については、適切に維持補修を行い、運用します。広域行政の視点も取り入れ、施設のライフサイクルに応じた更新を進めます。」

ごみ処理については、市民の皆さんに分別の徹底をお願いし、可燃ごみを現状の一日あたり 35 t 程度に収まるようにします。市は、資源ごみの回収を今以上に推進し、ごみの減量化を図ります。処理施設の延命を図るとともに、安全で確実な運営に取り組みます。施設の更新については、近隣市町村との広域処理による取り組みも考慮し進めます。

し尿の処理体制については、公共下水道事業や合併処理浄化槽整備事業により環境に配慮した現在の状況を維持します。

## 施 策 体 系

### ●快適に暮らせる生活基盤の整備

- 生活道路網等の整備
- 公園・広場・緑地の整備
- 社会ニーズに対応した公営住宅整備
- 安全な水の安定供給
- ごみ処理・し尿処理など生活関連施設の整備・充実

## 主 な 取 組

### (1) 生活道路網等の整備

- 狭あいな市道を整備改善し、渋滞の緩和や防災性の向上を図ります。
- 国土交通省の社会資本整備総合交付金事業を活用し、生活道路の整備を推進します。

### (2) 公園・広場・緑地の整備

- 身近で気軽に利用できる公園や広場の整備を図ります。
- 日峯大神子広域公園、恩山寺自然公園の自然環境を活かし、特色と魅力ある環境づくりを行います。
- 徳島小松島港本港地区及び赤石地区の緑地計画など緑地整備を進めます。

### (3) 社会ニーズに対応した公営住宅整備

- 小松島市営住宅長寿命化計画に基づき、住戸の管理戸数の適正管理や、建替え・用途廃止・改修・維持修繕等を行い、市営住宅のライフサイクルコストの縮減を図ります。
- 築後30年以上経過している小集落地区改良住宅の改修工事については、従前の工法及び使用資材等の見直しを行うなど、コスト削減に努めることで実施戸数の増加を図り、早期に全戸の改修が完了するよう努めます。

### (4) 安全な水の安定供給

- 安全な水を安定供給するため、水道施設の適切な維持管理を行い、また、中長期的な視点で計画的、効率的に施設更新を行います。
- 取水環境の変化に対応するため、監視強化を図り、適切な水質管理を行い、水道の安全性の確保を行います。
- 送配水の段階での水質劣化要因を除去します。浄水処理された安全でおいしい水が、配水段階で水質劣化しないよう、水の滞留箇所のループ化や管口径の最適化を図ります。

### (5) ごみ処理・し尿処理など生活関連施設の整備・充実

- 施設の延命を図るため、市民の皆さんには、市が進めるゴミ減量化のためのさまざまな取り組みへの協力をお願いします。市は、資源ごみ（紙類）、金属（スチール、アルミ）、びんガラス、ペットボトル、廃プラスチックの再資源化を実施することで最終処分場への埋立量を減らし、それにより、現在の最終処分場の延命化に努めます。

目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
市民1人1日当たりの可燃ごみ（可燃性粗大ごみを含む）の量（グラム）	23年度	28年度	1年間の可燃ごみ量（可燃性粗大ごみを含む）÷365日÷人口
	877	800	

- 次期ごみ焼却場などの中間処理施設の整備に向けた取り組みについては、徳島東部7市町村で構成する徳島東部地域環境施設整備推進協議会で、広域整備に向けた協議を進めます。
- 公共下水道、合併処理浄化槽の事業を進めながら、より衛生的なし尿の収集・運搬・処理体制を構築します。
- 火葬場施設については、市民の皆さんのニーズを踏まえながら、できるだけ早期の事業化に向けて、さまざまな事業手法を検討します。